

上海（浦東）国際空港の状況について



8/26（木曜）

7月末に空港貨物地区にてコロナ陽性者が1名出たことにより、当局から防疫管理強化として「封鎖管理」の通達が出され、上屋作業員が2週間毎の勤務と隔離の交代制をとる措置がとられました。それにより作業員不足の状況になり、フライト予定に貨物が搭載できず上屋に貨物が滞留することになりました。

更に先週末8月20日と21日には計5名の陽性者も確認され、空港貨物地区関係者全てにPCR検査を実施、一部の上屋が封鎖され、また一部の航空会社が運航をキャンセルし、他の航空会社も貨物の受託制限をしました。現在もキャンセル及び受託制限は継続中で運航便が限られております。

直近では、全日本空輸（ANA）が通常50便強の運航スケジュールがあるところその半分以上の36便がフライトキャンセルとなり、貨物専用機の運航である日本貨物航空（NCA）も運休となっております。他、運航を継続できている航空会社においても受託制限の範囲を広めたり、期間を延長するなど、依然として運航キャンセルとキャパシティ不足が続いている状況になります。